

多古町平成23年産米の放射性物質検査結果について

千葉県は、安全なお米を消費者の皆様を提供するため、米の放射性物質検査を実施しています。

今回、本調査として多古町内5地点の玄米を分析した結果、安全性が確認され、出荷自粛を解除する通知がありました。なお、分析結果は下表のとおりです。

今年収穫される多古町産のお米は
出荷・販売・譲渡・贈答
ができるようになりました。
安心して、多古町産の美味しい新米
をご賞味ください。

【分析結果】

単位:ベクレル/Kg

番号	栽培地(旧市町村)	公表日	採取日	品目	放射性セシウム134	放射性セシウム137
1	南玉造(旧常磐村)	8月24日	8月22日	玄米	検出せず	検出せず
2	本三倉(旧久賀村)	8月24日	8月22日	玄米	検出せず	検出せず
3	五反田(旧多古町)	8月24日	8月19日	玄米	検出せず	検出せず
4	船越(旧東条村)	8月24日	8月19日	玄米	検出せず	検出せず
5	中村新田(旧中村)	8月24日	8月22日	玄米	検出せず	検出せず

注1)ベクレル:放射能の強さを表す単位で、単位時間(1秒間)内に原子核が崩壊する数を表す。

注2)「検出せず」とは、放射性物質が存在しない、又は定量下限値未満であることを示す。

なお、本検査における、定量下限値は、放射性セシウム134:20ベクレル/Kg

放射性セシウム137:20ベクレル/Kg

【暫定規制値】 穀類 放射性セシウム : 500ベクレル/Kg以下

【分析機関】 No.1, 2, 5(財)日本食品分析センター多摩研究所

No.3, 4(財)食品環境検査協会横浜事業所

平成23年8月24日
多古町産業経済課
電話:76-5404